



# 第13期 決算説明会

平成30年8月28日

# scigineer

サイジニア株式会社

# 会社概要

**scigineer**

- 会社名           サイジニア株式会社
- 所在地           東京都港区浜松町1-22-5
- 代表取締役      吉井 伸一郎
- 事業内容        パーソナライズ・エンジン「デクワス」を利用した  
マーケティング支援サービスを提供
- 沿革            平成17年8月   サイジニア有限会社を北海道江別市に設立  
平成19年4月   サイジニア株式会社へ組織変更  
平成20年5月   「デクワス.RECO」サービス開始  
平成22年10月  「デクワス.AD」サービス開始  
平成24年9月   「デクワス.DSP」サービス開始  
平成26年2月   「デクワス.POD」サービス開始  
平成26年12月  東京証券取引所マザーズ市場へ上場  
平成28年10月  「デクワス.CAMERA」サービス開始  
平成29年2月   ファッションAIアプリ「PASHALY(パシャリィ)」をリリース  
平成29年9月   ビジュアルAIレコメンド「デクワス.VISION」サービス開始  
平成30年8月   クルーズ株式会社と業務提携

- ネット上の情報閲覧や商品購入などに関する

ユーザー行動履歴を大量保有し、

- ビッグデータから趣味嗜好性を解析する

AI等を駆使した独自解析技術を開発、

- 欲しいものをおすすめ、商品購入を促進する

マーケティングサービスを提供しています

---

「探すんじゃなくて、でくわす」を実現する デクワス を開発・提供



# scigineer デクワス事業の概要

## レコメンド事業



## ネット広告事業



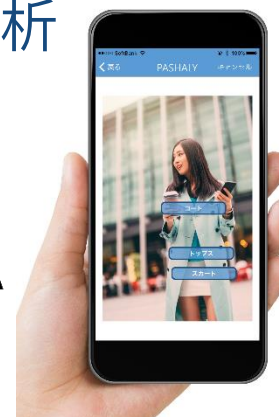
パーソナライズ ターゲティング



再購入促進



AIによる画像解析



## オムニチャネル事業

当期～

創業期

レコメンド  
事業利益を確保できるが  
競争の激しい領域

成長期

ネット広告  
事業売上は大きいが利益率の低い  
案件を整理して収益性を改善

上場後

オムニ  
チャネル  
事業大手メーカーと組むも  
売上の積上げに苦戦AI技術活用  
事業画像解析AIによる  
新サービスを提供

■ 当期ハイライト

**scigineer**

既存サービス分野においては  
安定受注と採算性の向上への取り組み、  
および、サービスのリニューアルを推進

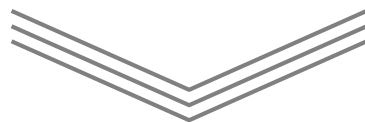


新規サービス分野においては  
企画・開発を積極推進し、  
新規サービスの受注拡大



## デクワス.ADのリニューアル

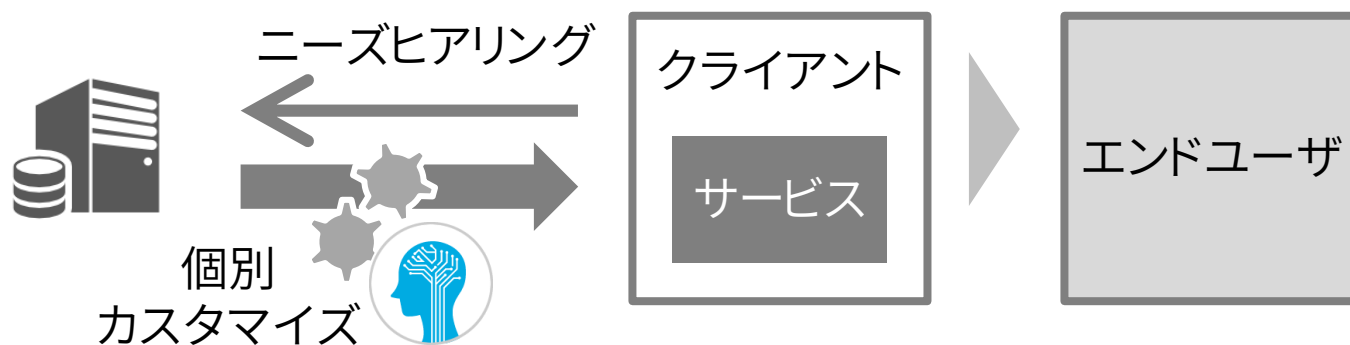
- 簡単にターゲティング広告を配信できる  
「デクワス.AD スタートパック」をリリース
- レコメンド技術と機械学習により、事前のデータ連携にかかる準備が不要になり、導入準備にかかる期間を短縮



配信実績を積み上げ

## ソリューションビジネスへの移行

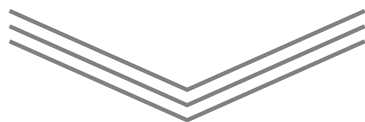
- 従来のプロダクト販売に加えて、顧客ニーズにあわせたカスタマイズを実施する販売体制を強化



大型案件の売上を計上

## デクワス.VISIONの推進

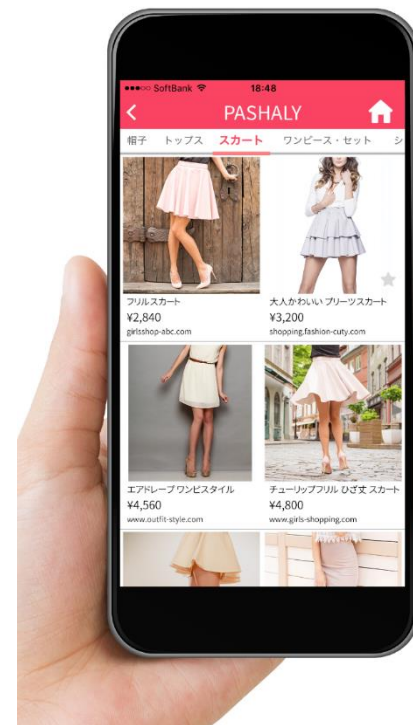
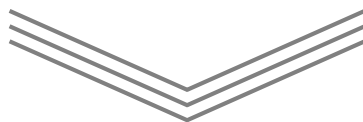
- 従来の行動履歴型レコメンドに代わり、画像解析AIによる「イメージに近い商品」を提案するサービスを展開
- 「SHOPLIST.com by CROOZ」や「SANYO iStore」など大手ファッションサイトで提供を開始



導入実績を拡大

## PASHALYの提携サイト拡大

- 機能の追加と提携サイトの拡大
- “自分好みのデザイン”をずらりと並べてショッピングするEC体験を提供



## ビジュアルコマースを推進

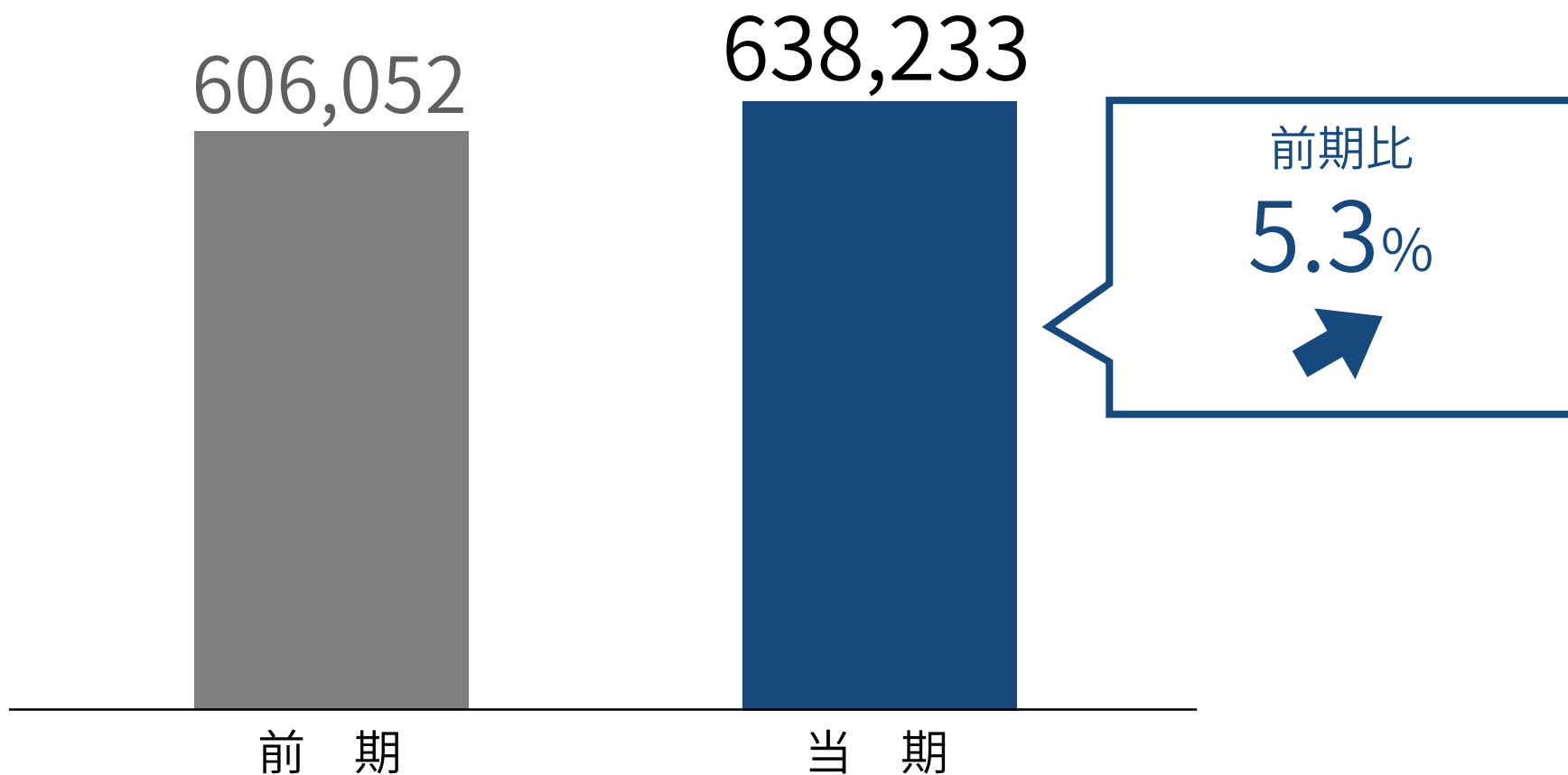
# 決算概要

**scigineer**

● 当事業年度 (平成29年7月1日～平成30年6月30日)

売上高

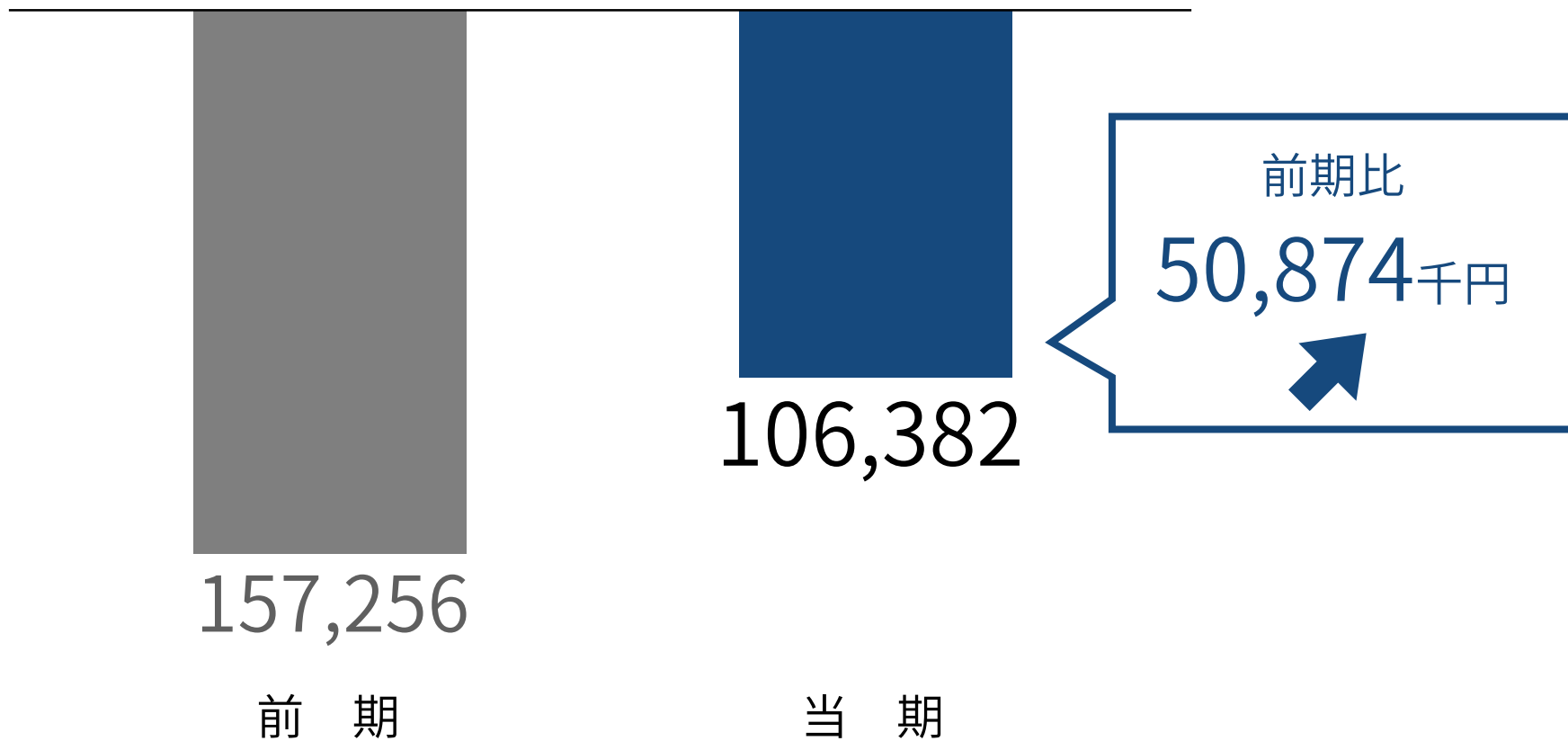
単位:千円



● 当事業年度 (平成29年7月1日～平成30年6月30日)

営業損失

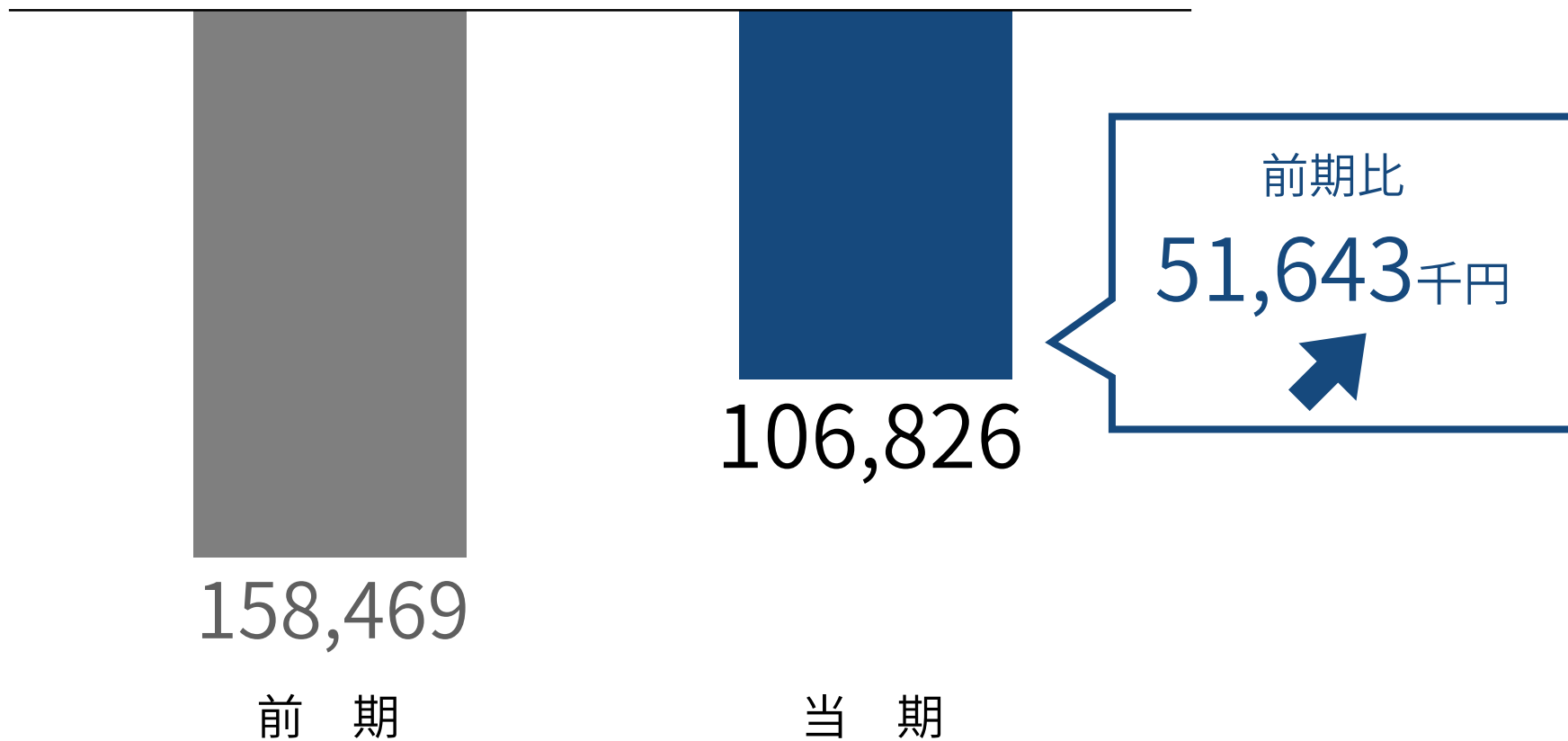
単位:千円



● 当事業年度 (平成29年7月1日～平成30年6月30日)

経常損失

単位:千円

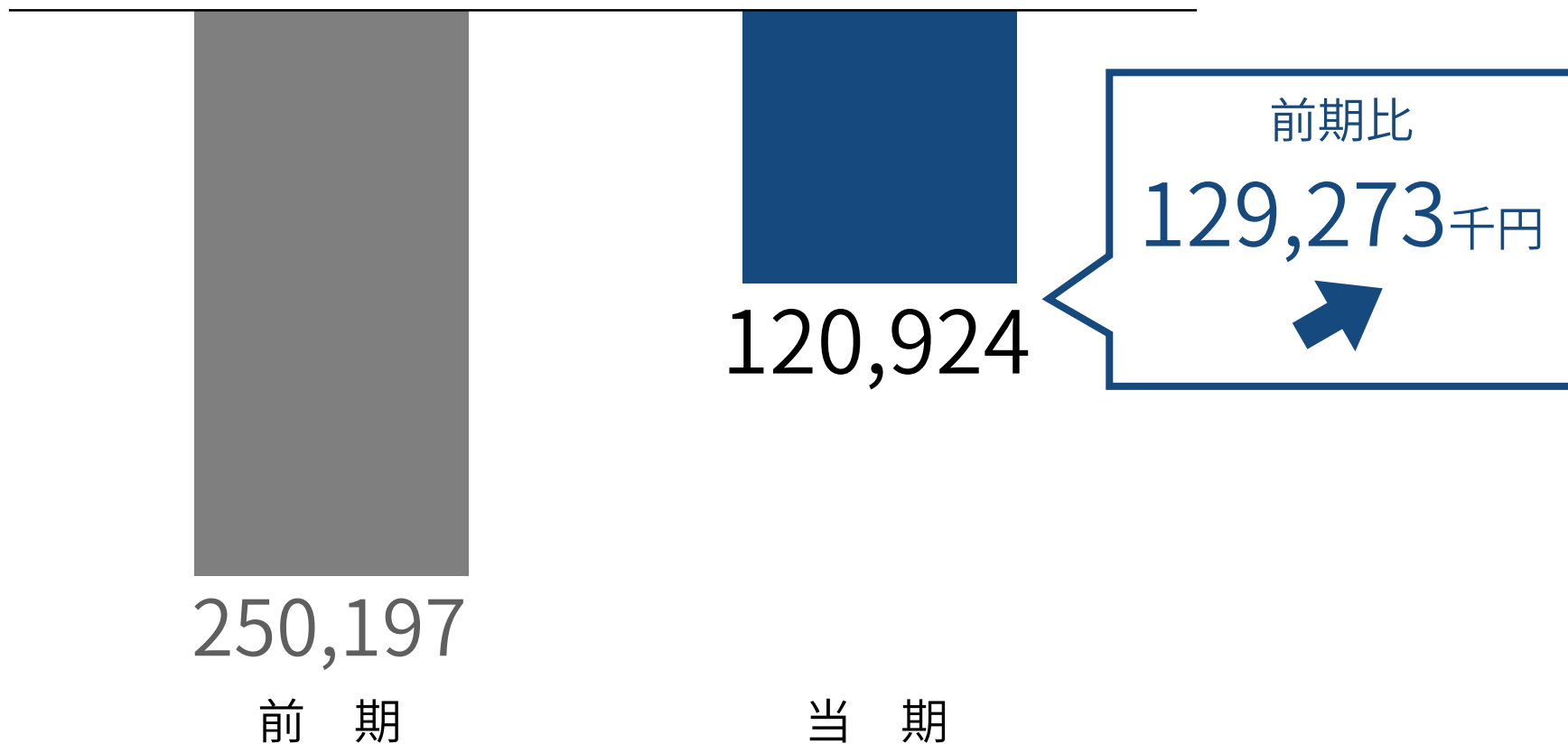




● 当事業年度 (平成29年7月1日～平成30年6月30日)

当期純損失

単位:千円



単位:千円

科 目	金 額
売上高	638,233
売上原価	499,632
売上総利益	138,601
販売費及び一般管理費	244,984
営業損失	106,382
営業外収益	219
営業外費用	663
経常損失	106,826
特別損失	13,148
税引前当期純損失	119,974
当期純損失	120,924

# scigineer 貸借対照表(資産の部)

単位:千円

科 目	金 額
資産の部	
流動資産	632,549
固定資産	20,207
有形固定資産	—
投資その他の資産	20,207
資産合計	652,756

## 資産合計

前事業年度末比  
77,475千円

730,231



前期

652,756



当期

# scigineer 貸借対照表(資産の部)

単位:千円

科 目	金 額
資産の部	
流動資産	632,549
固定資産	20,207
有形固定資産	—
投資その他の資産	20,207
資産合計	652,756

## 資産合計

前事業年度末比

77,475千円



730,231



前期

652,756



当期

- 当期純損失による現預金の減少
- 売上高の増加による売掛金の増加

# scigineer 貸借対照表(負債の部)

単位:千円

科 目	金 額
負債の部	
流動負債	84,066
固定負債	6,169
負債合計	90,235
純資産の部	
株主資本	546,281
資本金	788,104
資本剰余金	785,104
資本準備金	785,104
利益剰余金	△1,026,927
新株予約権	16,239
純資産合計	562,521
負債純資産合計	652,756

## 負債合計

前事業年度末比

15,798千円 ↗

74,437



前期

90,235



当期

# scigineer 貸借対照表(負債の部)

単位:千円

科 目	金 額
負債の部	
流動負債	84,066
固定負債	6,169
負債合計	90,235

## 負債合計

前事業年度末比

15,798千円 ↗

## 純資産の部

- 売上高の増加による買掛金等の増加

資本剰余金	785,104
資本準備金	785,104
利益剰余金	△1,026,927
新株予約権	16,239
純資産合計	562,521
負債純資産合計	652,756

74,437



前期

90,235



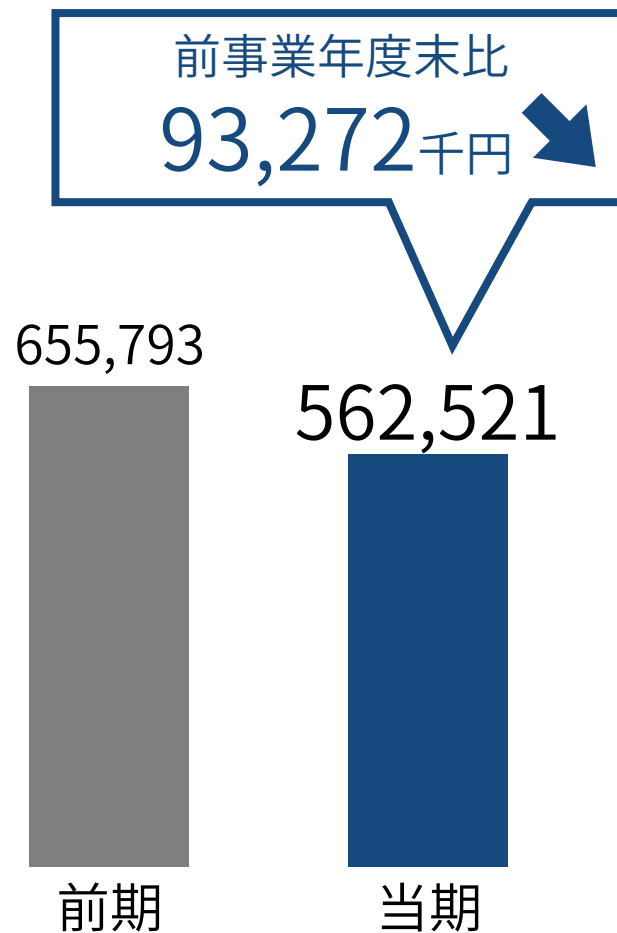
当期

# scigineer 貸借対照表(純資産の部)

単位:千円

科 目	金 額
負債の部	
流動負債	84,066
固定負債	6,169
負債合計	90,235
純資産の部	
株主資本	546,281
資本金	788,104
資本剰余金	785,104
資本準備金	785,104
利益剰余金	△1,026,927
新株予約権	16,239
純資産合計	562,521
負債純資産合計	652,756

## 純資産合計

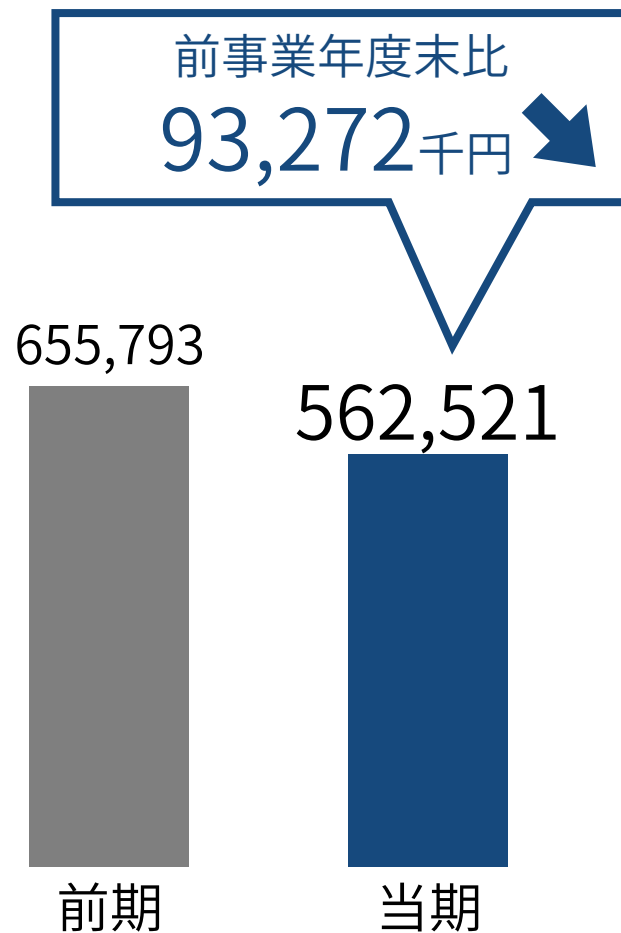


# scigineer 貸借対照表(純資産の部)

単位:千円

科 目	金 額
負債の部	
流動負債	84,066
固定負債	6,169
負債合計	90,235
純資産の部	
株主資本	546,281
資本金	788,104
資本剰余金	785,104
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 当期純損失の計上による繰越利益剰余金の減少</li> </ul>	
新株予約権	16,239
純資産合計	562,521
負債純資産合計	652,756

## 純資産合計





■ 平成31年6月期について **scigineer**

「デクワス.VISION」等、ユニークな提供価値を有する  
新サービスの開発・推進

業務提携による販路拡大・事業拡大

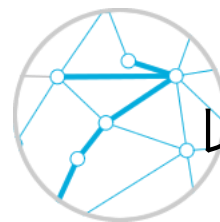
外部パートナー連携による  
ソリューションビジネスの高付加価値化



画像解析エンジン

**dequas.CAMERA**

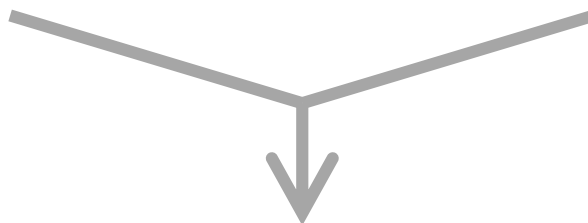
AIが機械的に特徴量を  
導出して画像分類



レコメンドエンジン

**dequas.RECO**

複雑ネットワーク理論による  
パーソナライゼーション



**dequas.VISION**

ビジュアルAIレコメンデーション

## 新着商品に対応、一点物のECサイトなどに最適

- 既存手法の弱点は「コールドスタート問題」  
解析用のデータが蓄積されるまでレコメンドできない
- デクワス.VISIONは、新着商品の画像が届いた段階で  
商品間の類似性を解析し、即座にレコメンド可能

## 大量の商品の中の「光る卵」を眠らせない

- 既存手法では、過去に閲覧・購入していないと解析不能。  
商品数が多いとロングテールに埋もれてしまう。
- デクワス.VISIONは、AIが全ての商品画像を解析するため、  
商品力・価値ある商品が埋もれることを防ぐ。

## クルーズ株式会社との業務提携

当社

「SHOPLIST.com by CROOZ」を運営する  
CROOZ SHOPLIST株式会社

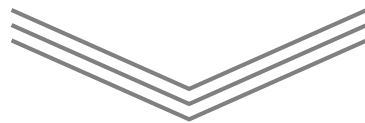
ビッグデータ  
解析技術  
・  
AI関連技術

+

事業開発力  
・  
販売力

事例化：各種デクワスをSHOPLISTに導入して品質向上

- 第1弾：「デクワス.VISION」の導入（2018年3月29日）
- 第2弾：「デクワス.CAMERA」の導入（2018年8月23日）



横展開：SHOPLIST取引ブランドにデクワスを共同販売

当社

技術の  
開発・運用

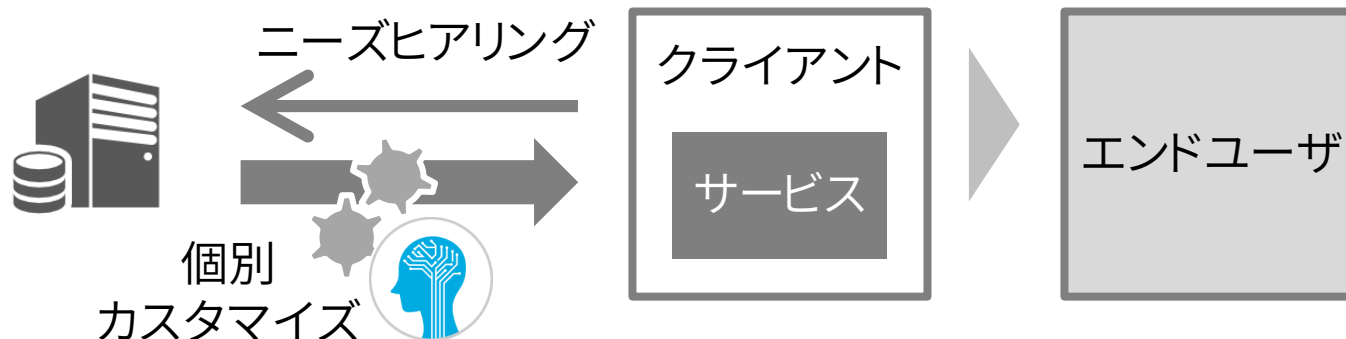


サービスの  
企画・販売

CROOZ  
SHOPLIST

## 外部パートナー連携で高付加価値ソリューションを提供

- オンライン上の情報を一元的に管理し、最新に保つことを可能にするデジタルナレッジマネジメントのサービスを、世界160か国で展開するYextの国内協業パートナーに認定
- 小売業界、飲食業界、金融業界などにおいて、データ連携支援、周辺システム開発支援などさまざまな形でサポート



当社は、平成30年8月10日開催の取締役会において、クルーズ株式会社との間で業務提携を行うことを決議し、同日付でクルーズ株式会社との間で業務提携契約を締結しており、現在業務内容の見直しを進めております。

このため、現時点では業績に与える未確定な要素が多いため、業績予想を数値で示すことが困難な状況です。

平成31年6月期の業績予想については、合理的に予測が可能になった時点で公表いたします。



本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。